

# 相談室だより(みさき病院)

2017年8月



みなさん、こんにちは。みさき病院の山下です。  
暦の上では秋にあたる時期ですが、まだジリジリと暑い日差しが降り注いでおり、熱中症対策は油断できません。水分・塩分の補給をしっかりとこなってくださいね。  
さて、8月10日はみさき・くろさき盆踊り大会が開催され、唐揚げやかき氷、金魚すくいやくじなど沢山の夜店がならび、約900名もの方に来場いただき、大いに賑わいました☆  
来場いただいた皆さん、ご協力いただいた地域の皆さん、ありがとうございました！

## 【認知症コーディネーター養成研修】

私ごとですが、認知症コーディネーター養成講座の受講を開始しました。今年の1月に、この相談室たよりに受講したい旨を書き、発行して間もなく“受講してみないか”と声をかけていただいたのです。この相談室たよりを読んで声をかけていただいたのかは、未だに不明です…。2017年6月25日に開講式を迎えたのは、私を含む11名です。月に2～3日のペースで受講しており、期間は2年間です。研修内容は、認知症を中心に、脳の機能や疾患、治療、介護、ケア、人権、コミュニケーションなど幅広いカリキュラムとなっています。田中先生にも講義をいただきました。まだ始まって3ヶ月ほどですが、想像していたよりも楽しく、この場でしか出会えなかった受講生の方々と、楽しく学習していけたらと思っています！

★認知症コーディネーターとは？

→2017年1月号に概要を記載していますので参照ください！

では、さっそく講義で学んだ“パーソンセンタードケア”についてお話をさせてください。

質問です。とあるグループホームにて、夕方4時頃、80代の佐藤カオルさんは、いそいそと荷造りをし、スタッフに「私は帰ります」と言います。さて、あなたは何と答えますか？



私は帰ります！

私に浮かんだ答えは「帰りたいんですね、どうやって帰りましょうか？」でした。結論から言うと、「帰ります」という言葉の裏を考えると大事ということでした。佐藤さんが何故「帰りたい」と言うのか。例えば、今いる場所が居心地が悪い、ここに居たくない、不調がある、寂しい、など色々な理由が考えられます。つま

り、本当に「帰りたい」のではなく、何か別のことを訴えたいけれど、言葉に出来ず、「帰りたい」という言葉で表現されることを知っておく必要があることを学びました。ですので、望ましい答えは「佐藤さん、どうしましたか？」ということでした。このように、“帰ります”という言葉が出たときに、“佐藤さんはなぜ帰ると言うのだろう”“本当に帰りたいのかな？”“本当の訴えは何だろう”と考えることが大切で、それがその人を中心として考えるという意味でのパーソンセンタードケアであると学びました。

現場では「娘さんがもうすぐ迎えに来ますから一緒に待ちましょう」と答えてしまうことがありがちで、私も実際に患者さんにそう答えることが多いです。その言葉で安心されたように見えても、心の中では「ああ、またあしらわれた」と思われていたかもしれません。そう思うと申し訳ない気持ちで一杯になります。講義を受けるたびに反省が付いてきます・・・引き続き、研修を通し、こうして発信していけたらと思います。



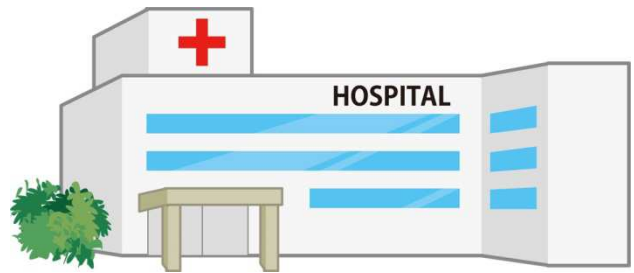
## 事例

最近の事例を紹介します。

◆Aさん70代男性。妻と2人暮らし。

「介護保険の申請をしたいと思ってるんですが…」と妻が口を開きました。

Aさんは40代前半で交通事故に遭い、生死をさまよう重体となりました。懸命な治療とリハビリで、不安定ながらも歩行ができるようになりました。仕事の会合帰りの事故でしたが、提出していた通勤路ではないことや諸事情で裁判



でも労災が認められず、苦い思いをした経緯もあられます。

加齢に伴い、体力の低下は進みます。麻痺の残った状態で、妻の介助を得ながら日々の生活を送ってきました。そして2年前、妻が病気を患い、いつ出血を起こして手術が必要になるかわからない状況になりました。妻が入院となれば、Aさんは家でひとりで過ごすことは厳しい状態です。介護保険のショートステイの利用を考え、妻が介護保険の申請に行きました。ところが、窓口で“利用の予定がなければ申請できません”と言われて引き返してこられました。その後、こうして連携室に相談に見えました。

介護保険は申請から認定まで1～2ヶ月かかります。妻が入院になってから申請しては間に合いません。私のほうで無事に代行申請をおこなうことができ、これから認定調査を控えています。「行ってきます、と出勤した夫が、次に会った時には障害者になっていた」「働き盛りで障害を負い、親戚は遠ざかり会う機会もなくなった」「頼る人は居ない。夫には私しかいない。でも私の人生、夫の介護で終わると思うと悲しい」と切々と話されました。介護保険の申請を希望する背景に、たくさんの苦悩があったのだとわかり、胸が痛くなった事例でした。

次回9月号は  
みさき病院 福山さんです！  
乞うご期待！